

3 米

(1) 国際的な米需給の概要（詳細は右表を参照）

<米国農務省（USDA）の見通し> 2020/21 年度

生産量 前年度比 $\uparrow$ 前月比 $-$

・タイ、中国等で増加し、前年度を上回る見込み。

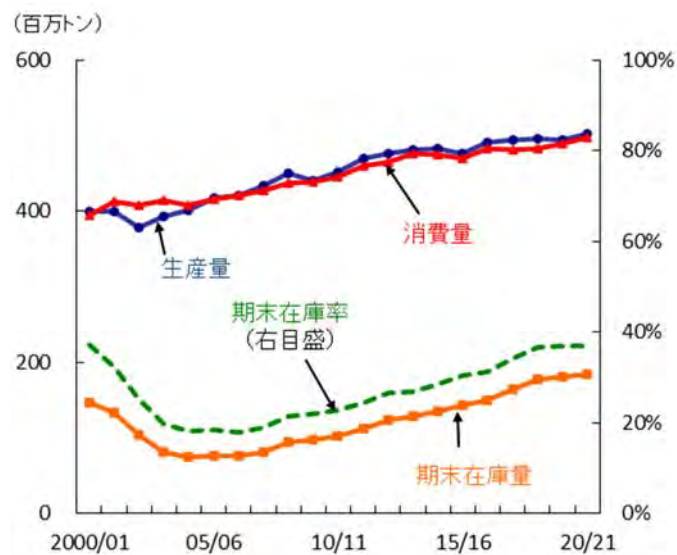
消費量 前年度比 $\uparrow$ 前月比 $-$

・中国、インド等で増加し、前年度を上回る見込み。

輸出量 前年度比 $\uparrow$ 前月比 $-$

・タイ、インド等で増加し、前年度を上回る見込み。

期末在庫量 前年度比 $\uparrow$ 前月比 $-$



資料：USDA「PS&D」（2020.5.12）をもとに農林水産省にて作成

◎世界の米需給

(単位:百万精米トン)

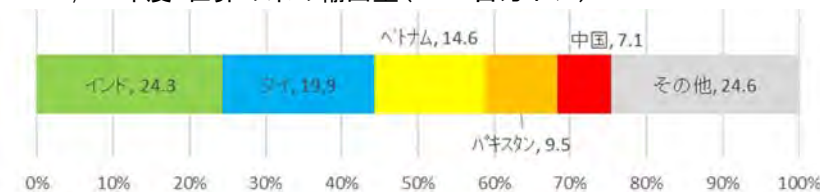
年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	496.5	493.8	502.0	—	1.7
消費量	483.8	490.2	498.1	—	1.6
輸出量	43.7	42.4	45.2	—	6.7
輸入量	43.8	40.7	42.1	—	3.5
期末在庫量	176.7	180.4	184.2	—	2.1
期末在庫率	36.5%	36.8%	37.0%	—	0.2

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」(12 May 2020)

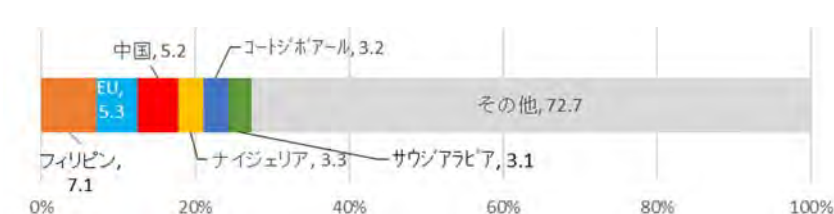
○ 2020/21 年度 世界の米の生産量 (502.0 百万トン) (単位：%)



○ 2020/21 年度 世界の米の輸出量 (45.2 百万トン)



○ 2020/21 年度 世界の米の輸入量 (42.1 百万トン)



（２）国別の米の需給動向

< 米国 >

【生産動向】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、対前年度17.1%増の6.9百万トンの見込み。このうち、中・短粒種の生産量は全体の約3割を占める。また、Crop Progressによれば、2020年5月10日時点での2020/21年度の作付割合は70%となっており、長雨で作付が遅れた昨年同時期と比べて17ポイント進んでいるが、過去5カ年平均と比べると5ポイント遅れている。

【貿易情報・その他】USDAによれば、輸出量は、豊富な供給量と競争力のある価格により長粒種の輸出が伸びており、対前年度2.3%増の3.2百万トンの見込み。輸入量は、東南アジア、南アジアから香米の輸入が増加し、対前年度2.0%増の1.0百万トンの見込み。

< ベトナム >

【生育・生産動向】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、対前年度0.5%増の27.5百万トンの見込み。なお、ベトナム統計局によれば、4月15日までに全国で作付けされた冬春作米は約302万haで、昨年度比96.8%となっている。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、対前年度1.5%増の6.6百万トンに増加する見込み。

ベトナム税関総局によれば、2020年1月～4月の輸出は、数量では約211万トンと対前年同期比で1.1%増加している。その内訳（数量）は、フィリピン向けが42.8%を占め、以下中国、マレーシア、ガーナ向けとなっている。国際的な米の需要拡大と価格の高騰を受け、ベトナムの米輸出は2月まで好調であったが、3月下旬にベトナム政府が新規の米輸出を一時的に差し止め、4月には輸出枠を設定したことにより、3月と4月の輸出量は前年を下回った。そのため、輸出価格の高騰にもかかわらず、金額ベースの輸出実績は990.8百万USドルと前年同時期と比較して11.2%の増加に留まっている。

なお、ベトナム政府は5月以降、米の輸出枠を撤廃した。

米－米国

主に中・短粒はカリフォルニア、長粒はミシシッピ川沿いで栽培
カリフォルニア州の全米の米生産に占める生産シェアは約2割

(単位:百万精米トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	7.1	5.9	6.9	—	17.1
消 費 量	4.6	4.2	4.4	—	3.6
輸 出 量	3.0	3.1	3.2	—	2.3
輸 入 量	0.9	1.0	1.0	—	2.0
期末在庫量	1.4	1.0	1.3	—	37.1
期末在庫率	18.8%	13.2%	17.6%	—	4.4

(参考)

収穫面積(百万ha)	1.18	1.00	1.14	1.14	14.0
単収(もみt/ha)	8.62	8.38	8.63	8.63	3.0

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 May 2020)

米－ベトナム

北部で二期作、南部で二期作、三期作。主に長粒種、一部で短粒種も栽培

(単位:百万精米トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	27.3	27.4	27.5 (28.5)	—	0.5
消 費 量	21.2	21.3	21.4 (22.5)	—	0.5
輸 出 量	6.6	6.5	6.6 (6.5)	—	1.5
輸 入 量	0.5	0.4	0.4 (0.4)	—	—
期末在庫量	1.1	1.1	1.0 (2.6)	—	▲ 9.3
期末在庫率	4.0%	3.8%	3.5% (9.1%)	—	▲ 0.4

(参考)

収穫面積(百万ha)	7.54	7.51	7.60 (7.47)	—	1.2
単収(もみt/ha)	5.80	5.83	5.79 (3.81)	—	▲ 0.7

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 May 2020)
IGC「Grain Market Report (30 April 2020)」 (単収は精米t/ha)

< 中国 >

【生育・生産動向】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、対前年度1.5%増の149.0百万トンの見込み。なお、農業農村部の農業事情調査によれば、全国の春播種作業は順調に進んでおり、4月26日現在、全国早稲の移植進捗は98.4%で、1期作稲の育苗は85.5%完了し、黒竜江等の東北地区の播種進捗は低温、降雨により、前年比やや遅れている。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、対前年度6.7%増の3.2百万トン、輸入量は対前年度8.3%減の2.2百万トンとなる見込み。今のところ輸出規制は実施していない。

中国農業農村部の「農産品供需形勢分析月報」（4月）によれば、4月の早期インディカ、晩期インディカ、一期作ジャポニカ米の卸売価格(精米)は、それぞれ3,800元/トン(3月は3,720元/トン)、4,160元/トン(同4,120元/トン)、4,260元/トン(同4,000元/トン)。価格は、上旬は国際価格の上昇を受けて上昇、下旬は国内供給が十分足りているため消費市場は落ち着いた。

< タイ >

【生育・生産動向】現地報道によれば、タイ灌漑局が、6月より予想される大雨により、昨年から続く水不足が緩和される可能性があるとして発表した。USDAによれば、2020/21年度の生産量は、対前年度13.3%増の20.4百万トンの見込み。収穫面積は対前年度比9.4%増加、単収は対前年度比3.6%増加。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、対前年度比20.0%増の9.0百万トンの見込み。なお、タイ米輸出業者協会によれば、2020年1～3月のタイ米の輸出量は前年同期比で39.1%減少の146.8万トンで、輸出額も28.1%と大幅に減少し285億バーツとなった。しかし、3月には海外輸入業者からの買付により輸出が大幅に増加した。

なお、タイ政府は輸出規制を行わない旨を公表している。

米—中国

北部で一期作、南部で二期作。ジャポニカ(粳)米は東北地区、江蘇省等で栽培、生産シェアは3割程度

(単位:百万精米トン)						
年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21			
			予測値、()はIGC		前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	148.5	146.7	149.0	(147.0)	—	1.5
消 費 量	142.9	145.1	147.0	(145.5)	—	1.3
輸 出 量	2.8	3.0	3.2	(3.4)	—	6.7
輸 入 量	3.2	2.4	2.2	(2.5)	—	▲ 8.3
期末在庫量	115.0	116.0	117.0	(113.1)	—	0.9
期末在庫率	78.9%	78.3%	77.9%	(75.9%)	—	▲ 0.4
(参考)						
収穫面積(百万ha)	30.19	29.69	30.20	(29.70)	—	1.7
単収(もみt/ha)	7.03	7.06	7.05	(4.95)	—	▲ 0.1

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 May 2020)
IGC「Grain Market Report (30 April 2020)」(単収は精米t/ha)

米—タイ

夏の雨季作と冬の乾季作で行われる。主にインディカを栽培

(単位:百万精米トン)						
年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21			
			予測値、()はIGC		前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	20.3	18.0	20.4	(20.0)	—	13.3
消 費 量	11.5	11.2	11.8	(11.4)	—	5.4
輸 出 量	7.6	7.5	9.0	(8.2)	—	20.0
輸 入 量	0.3	0.3	0.2	(0.3)	—	▲ 20.0
期末在庫量	4.5	4.1	3.9	(4.5)	—	▲ 4.9
期末在庫率	23.8%	21.9%	18.7%	(22.9%)	—	▲ 3.2
(参考)						
収穫面積(百万ha)	10.83	9.96	10.90	(10.73)	—	9.4
単収(もみt/ha)	2.85	2.74	2.84	(1.86)	—	3.6

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 May 2020)
IGC「Grain Market Report (30 April 2020)」(単収は精米t/ha)

<インド>

【生育・生産動向】現地情報によれば、インド北部では小麦の収穫期をほぼ終え、米を含むカリフ（雨期）作物栽培のための圃場準備が行われている。米の二期作を行う地域のうち、東部、東北部ではラビ米の収穫がまもなく始まり、南部では収穫が行われている。

USDAによれば、2020/21年度の生産量予測は、前年度から変わらず118.0百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、対前年度7.8%増の11.0百万トンとなる見込み。新型コロナウイルス対策のため、政府が3月25日以降、国民に移動制限を課し労働力不足となったことから船積み遅れが発生したが、輸出規制は実施していない。

インド政府は、PM-GKAY（首相の貧困層福祉食料安全計画）スキームにより一人当たり5キログラムの穀物と世帯毎に1キログラムの豆類を3ヶ月間、配給カード保持者8億人に無料で配給しているが、5月5日の現地報道は、インド食料公社は、27.7百万トンの米と35.3百万トンの小麦を備蓄しており、ロックダウン下の追加の食糧支援を行っても余りあるとの消費者食糧公共配給大臣の発言を紹介している。

米ーインド

雨季をカリフ、乾季をラビと呼ぶ。北部はカリフ・ラビ（小麦）の二毛作、南部はカリフ・ラビの二期作。主にインディカを栽培

（単位：百万精米トン）

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21			
			予測値、()はIGC		前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	116.5	118.0	118.0	(118.5)	—	—
消費量	99.2	102.3	104.0	(105.3)	—	1.7
輸出量	10.4	10.2	11.0	(10.7)	—	7.8
輸入量	0.0	0.0	0.0	(0.0)	—	—
期末在庫量	29.5	35.0	38.0	(35.9)	—	8.6
期末在庫率	26.9%	31.1%	33.0%	(31.0%)	—	1.9

（参考）

収穫面積(百万ha)	44.16	43.80	44.00	(43.88)	—	0.5
単収(もみt/ha)	3.96	4.04	4.02	(2.70)	—	▲ 0.5

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、

「World Agricultural Production」(12 May 2020)

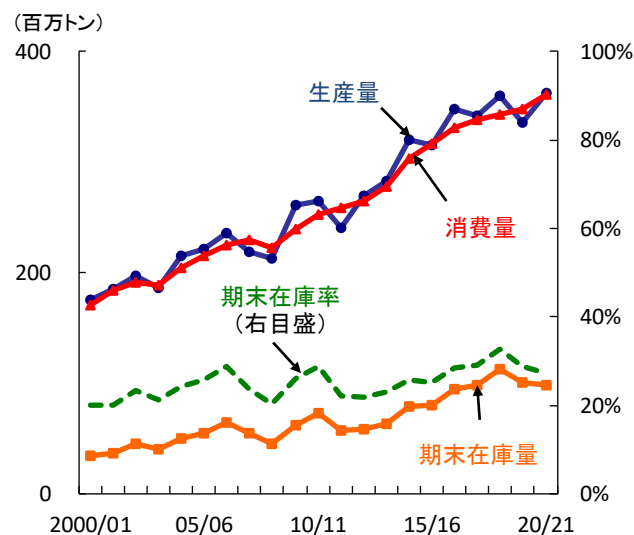
IGC「Grain Market Report (30 April 2020)」(単収は精米t/ha)

Ⅱ 油糧種子 大豆

(1) 国際的な需給の概要（詳細は右表を参照）

<米国農務省（USDA）の見通し> 2020/21 年度

生産量	前年度比	↑	前月比	—
・ 米国、ブラジル、アルゼンチン等で増加し、前年度を上回る見込み。				
消費量	前年度比	↑	前月比	—
・ 中国等で増加し、前年度を上回る見込み。				
輸出量	前年度比	↑	前月比	—
・ 米国等で増加し、前年度を上回る見込み。				
期末在庫量	前年度比	↓	前月比	—



資料：USDA「PS&D」（2020.5.12）をもとに農林水産省で作成。

◎ 世界の大豆需給

（単位：百万トン）

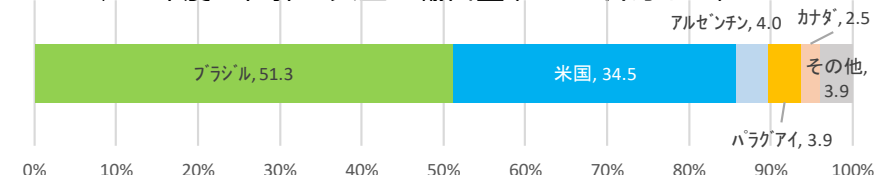
年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測から の変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	360.3	336.1	362.8	—	7.9
消 費 量	342.7	347.7	360.7	—	3.7
うち搾油用	297.3	302.0	312.8	—	3.6
輸 出 量	148.3	154.0	161.9	—	5.2
輸 入 量	144.6	153.3	158.0	—	3.1
期末在庫量	112.5	100.3	98.4	—	▲ 1.9
期末在庫率	32.8%	28.8%	27.3%	—	▲ 1.6

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」（12 May 2020）

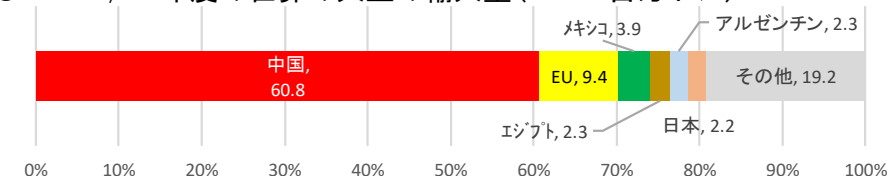
○ 2020/21 年度の世界の大豆の生産量 (362.8 百万トン) (単位：%)



○ 2020/21 年度の世界の大豆の輸出量 (161.9 百万トン)



○ 2020/21 年度の世界の大豆の輸入量 (158.0 百万トン)



(2) 国別の大豆の需給動向

< 米国 >

【生育・生産状況】米国農務省（USDA）によれば、2020/21 年度の生産量は、収穫面積の増加により前年度より 16.0%増の 112.3 百万トンの見込み。「Crop Progress」

(2020.5.18) によると、天候におおむね恵まれたことから主要 18 州における作付け進捗率は、53%と、前年同期（16%）及び過去 5 年平均（38%）より進んでいる。また、発芽率も 18%と、前年同期（4%）及び過去 5 年平均（12%）より進んでいる。

【需要動向】USDA によれば、前年度の消費量は新型コロナウイルスの感染拡大により、食肉処理場の閉鎖が相次ぎ養豚用飼料の需要が減少しているものの、2020/21 年度は大豆需要が回復基調であることを見込み、前年度より 1.8%増の 61.6 百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】2020/21 年度の輸出量は、中国向け輸出の大幅な増加等から前年度より 22.4%増の 55.8 百万トンの見込み。

輸出検証高（2020 年 1 月 2 日～5 月 7 日）は、12.8 百万トンであり、内訳は中国（3.3 百万トン）、メキシコ（1.6 百万トン）の順である。

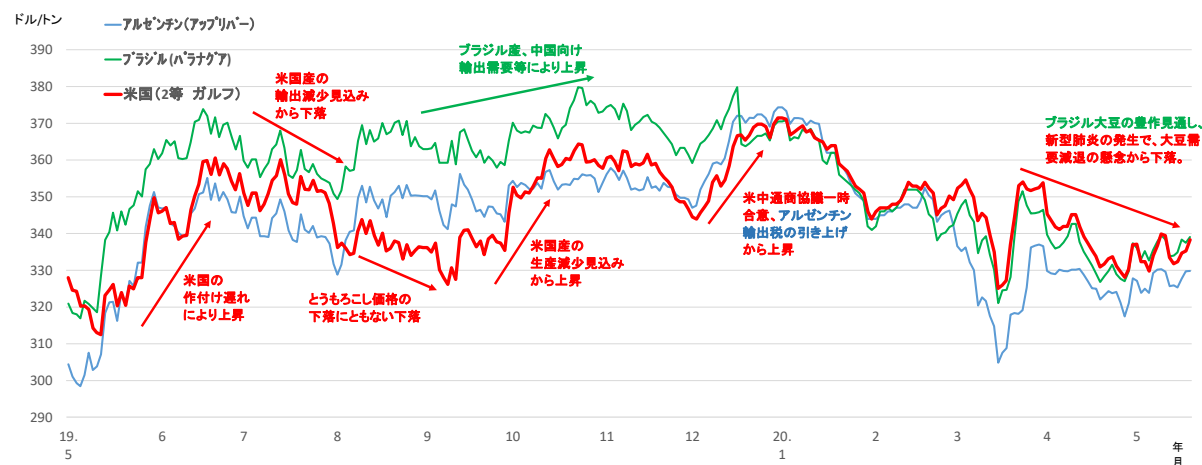
大豆－米国

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	120.5	96.8	112.3	—	16.0
消費量	60.5	60.6	61.6	—	1.8
うち搾油用	56.9	57.8	58.0	—	0.2
輸出量	47.6	45.6	55.8	—	22.4
輸入量	0.4	0.4	0.4	—	—
期末在庫量	24.7	15.8	11.0	—	▲ 30.1
期末在庫率	22.9%	14.9%	9.4%	—	▲ 5.5
(参考)					
収穫面積(百万ha)	35.45	30.35	33.51	—	10.4
単収(t/ha)	3.40	3.19	3.35	—	5.0

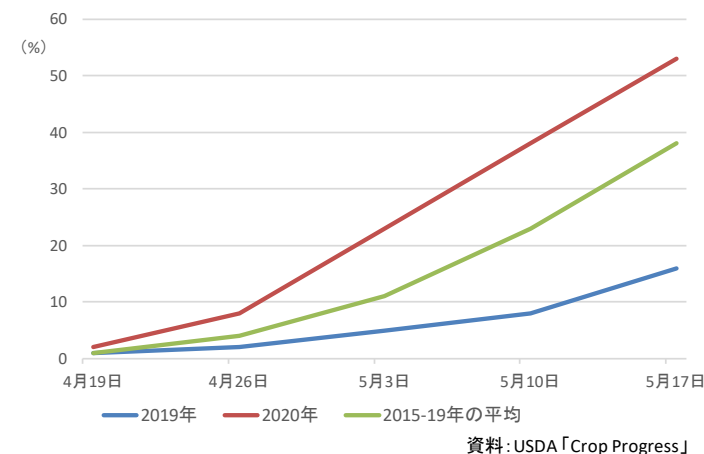
資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」 (12 May 2020)

図：米国、ブラジル、アルゼンチン大豆輸出価格（FOB）の推移



資料：IGC のデータをもとに農林水産省にて作成

図：主要 18 州における作付け進捗率の推移



資料: USDA 「Crop Progress」

< ブラジル >

【生育・生産状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、収穫面積の増加から前年度より5.6%増の131.0百万トンとなり、史上最高の見込み。本年9月以降に作付けが開始される。なお、2019/20年度の収穫は、ほぼ終了している。

【需給状況】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、前年度より1.6%増の47.7百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、2020年後半の輸出量が減少する見込みから前年度より1.2%減の83.0百万トンの見込み。なお、世界の大豆輸出量の約半分を占め、世界第1位の輸出国を維持する見込み。

ブラジル貿易統計によれば、3月から4月にかけて中国向け輸出が急増しており、2020年1～4月の累計輸出量は33.7百万トンで、前年同期比1.3倍となっている。内訳は、1位が中国で24.7百万トンと全体の73%を占めている。

ブラジルのクロップカレンダー(中部から南部)

2019/20年度の大豆の収穫は2月以降収穫が行われ、その後、一部圃場で冬とうもろこしを栽培。

ブラジルのクロップカレンダー(中部から南部)

2019/20年度	2019年												2020年								
	1月	...	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
夏とうもろこし	リオグランデ・ド・スル州等												収穫 25.3(百万t)								
冬とうもろこし	作付 4.2(百万ha)												作付 14.3(百万ha)								
大豆	マトグロソ州、パラナ州等												収穫 120.3(百万t)								

資料: Conab穀物レポート(2020.5.12)

大豆ーブラジル

(単位:百万トン)

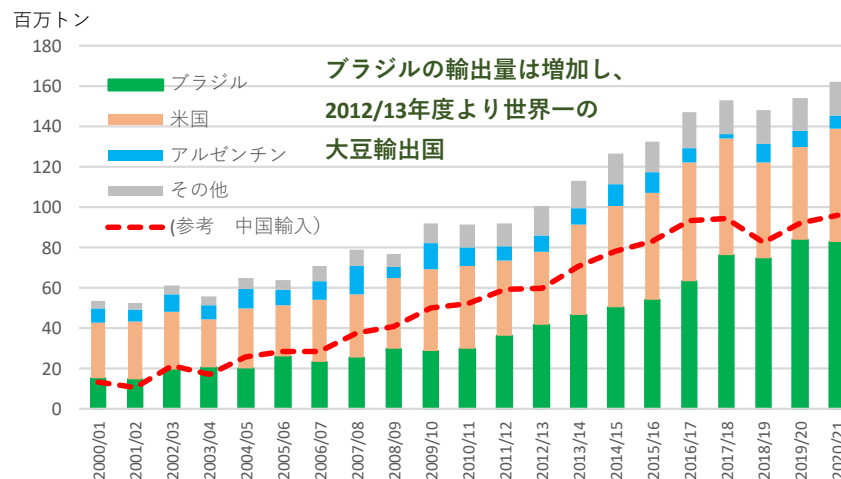
年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	119.0	124.0	131.0 (・・・)	—	5.6
消 費 量	44.8	46.9	47.7 (・・・)	—	1.6
うち搾油用	42.5	44.3	45.0 (・・・)	—	1.7
輸 出 量	74.6	84.0	83.0 (・・・)	—	▲ 1.2
輸 入 量	0.1	0.2	0.2 (・・・)	—	—
期末在庫量	32.5	25.7	26.2 (・・・)	—	1.9
期末在庫率	27.2%	19.7%	20.1% (・・・)	—	0.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	35.90	36.80	38.30 (・・・)	—	4.1
単収(t/ha)	3.31	3.37	3.42 (・・・)	—	1.5

(参考)

収穫面積(百万ha)	35.90	36.80	38.30 (…)	—	4.1
単収(t/ha)	3.31	3.37	3.42 (…)	—	1.5

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 May 2020)
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(22 May 2020)

図: 世界の大豆輸出国の輸出量の推移



資料: 米国農務省「PS&D」(2020.5.12)のデータをもとに農林水産省にて作成。

< アルゼンチン >

【生育・生産状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、前年度より4.9%増の53.5百万トンの見込み。

なお、「ブエノスアイレス穀物取引所週報」(2020.5.21)によれば、2019/20年度の収穫の進捗率は93.3%で、生産量は49.5百万トンの見込み。乾燥により収穫が進展した。

【需給状況】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、搾油用需要の増加に伴い前年度より3.1%増の50.2百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、中国向け輸出における米国、ブラジルとの競争、国内の搾油増加により前年度より18.8%減の6.5百万トンの見込み。アルゼンチン国家統計局によれば、2020年1～3月の輸出量は19万トンで、前年同期より8%増。内訳は、1位が中国12万トン、2位がチリ1.6万トンとなっている。

アルゼンチンは、バイオディーゼル用大豆の搾油を行うため、大豆輸出量よりも、搾油後に発生する大豆加工品の輸出が多く、大豆粕については、世界第1位の輸出国である。

フェルナンデス新政権は、財政赤字の補填等のため、2019年12月から2020年3月にかけて、2段階で、大豆、大豆油、大豆粕の輸出税を約25%から30%、さらに最大33%へ引き上げた。なお、生産規模ごとに税率が20～33%と細分化され、年間1,000トンを超える生産者は33%課税されることとなった。

大豆ーアルゼンチン

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	55.3	51.0	53.5 (…)	—	4.9
消 費 量	47.5	48.7	50.2 (…)	—	3.1
うち搾油用	40.6	41.6	43.0 (…)	—	3.4
輸 出 量	9.1	8.0	6.5 (…)	—	▲ 18.8
輸 入 量	6.4	3.8	3.6 (…)	—	▲ 5.3
期末在庫量	28.9	27.0	27.4 (…)	—	1.5
期末在庫率	51.1%	47.6%	48.3% (…)	—	0.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)	16.60	17.00	17.30 (…)	—	1.8
単収(t/ha)	3.33	3.00	3.09 (…)	—	3.0

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」
「World Agricultural Production」(12 May 2020)
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(22 May 2020)

写真: 北部サンタフェ州の大豆貯蔵の様子

(5月1日撮影)

穀物サイロに入らない収穫物は、
チューブ状のサイロバックを併用



< 中国 >

【生産・生育状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、前年度より3.3%減の17.5百万トンの見込み。なお、中国糧油情報センター（2020.5.8）によれば、2020/21年度の生産量は19.0百万トンの見込み。4月26日現在、11.3%で播種が完了している。

【需給動向】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、ASFの甚大な影響から回復し、養豚数の増加により飼料用需要、搾油需要がともに増加することから前年度より6.9%増の111.4百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸入量は養豚数の回復から飼料用需要が増加することから前年度より4.3%増の96.0百万トンの見込み。

中国財政部は、2月14日に、米中通商協議一次合意に伴い、米国産大豆の追加関税30%のうち、2019年9月追加分の5%分を半減させ、追加関税を27.5%まで引き下げた。さらに、財政部は、2月18日、1年間の期限付きで、輸入業者に対して、米国産大豆を始め豚肉、牛肉等の米国産品に関し、追加関税の免除手続きを公表した。

中国の貿易統計によれば、2020年1～3月の輸入量は17.8百万トンと、前年同期比で6%増。内訳は、米国産7.8百万トン（44%）、ブラジル産7.2百万トン（41%）である。

農業農村部「農産品供需形勢分析月報4月号」（2020.5.22）によると、4月、生産地の大豆余剰量は減少を続け、ロシア及びその他のユーラシア経済連合諸国は6月30日まで加盟国の大豆輸出を制限し、市場の供給不足への懸念が強まった。全国各地の事業所や学校の再開に伴い、大豆の需要が増加し、4月の国内流通価格が上昇している。

大豆－中国

(単位:百万トン)

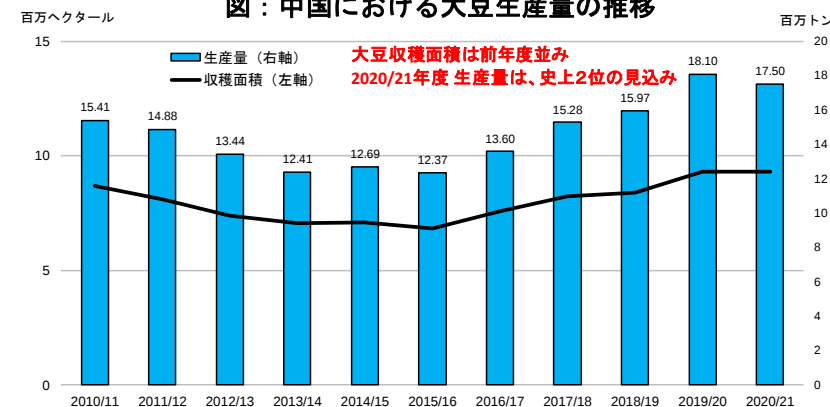
年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、0はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	16.0	18.1	17.5 (…)	—	▲ 3.3
消 費 量	102.0	104.2	111.4 (…)	—	6.9
うち搾油用	85.0	86.5	93.0 (…)	—	7.5
輸 出 量	0.1	0.1	0.1 (…)	—	▲ 23.1
輸 入 量	82.5	92.0	96.0 (…)	—	4.3
期末在庫量	19.5	25.2	27.2 (…)	—	7.9
期末在庫率	19.1%	24.2%	24.4% (…)	—	0.2

(参考)

収穫面積(百万ha)	8.41	9.30	9.30 (…)	—	—
単収(t/ha)	1.90	1.95	1.88 (…)	—	▲ 3.6

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 May 2020)
OIL WORLD 「OIL WORLD Monthly」(22 May 2020)

図：中国における大豆生産量の推移



資料: USDA 「PS&D」(2020.5.12)を元に農林水産省にて作成。

< カナダ >

【生育・生産状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、前年度より2.5%増の6.2百万トンの見込み。

なお、カナダ農務農産食品省(AAFC)「Outlook for Principal Field Crops」(2020.5.22)によれば、2020/21年度は、安定した価格、ここ数年の収穫状況の悪化、収益の非確実性といった要因により、作付面積が、前年度の2.31百万ヘクタールから2.11百万ヘクタールに減少するものの、単収が過去5年平均の2.89トン/ヘクタールに回復すれば、生産量は6.1百万トンと前年度(6.0百万トン)より増加すると見込んでいる。

【需給状況】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、飼料用需要の増加に伴い、前年度より4.0%増の2.6百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前年度より5.9%減の4.0百万トンの見込み。

大豆－カナダ

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はAAFC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	7.3	6.0	6.2 (6.1)	—	2.5
消 費 量	3.1	2.5	2.6 (2.4)	—	4.0
うち搾油用	2.1	1.8	1.9 (1.9)	—	5.6
輸 出 量	5.3	4.3	4.0 (4.2)	—	▲ 5.9
輸 入 量	1.2	0.5	0.6 (0.5)	—	22.2
期末在庫量	0.7	0.4	0.5 (0.3)	—	25.0
期末在庫率	8.4%	5.9%	7.6% (4.6%)	—	1.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	2.54	2.30	2.17 (2.10)	—	▲ 5.7
単収(t/ha)	2.86	2.61	2.83 (2.89)	—	8.4

資料: USDA「PS&D」

「World Agricultural Production」(12 May 2020)

AAFC「Outlook for Principal Field Crops」(22 May 2020)

(参考)本レポートに使用されている各国の穀物年度について (2020/21年度)

	小麦	とうもろこし	米	大豆
米国	20年6月～21年5月	20年9月～21年8月	20年8月～21年7月	20年9月～21年8月
カナダ	20年8月～21年7月			20年8月～21年7月
豪州	20年10月～21年9月		21年3月～22年2月	
EU	20年7月～21年6月	20年10月～21年9月		
中国	20年7月～21年6月	20年10月～21年9月	20年7月～21年6月	20年10月～21年9月
ロシア	20年7月～21年6月	20年10月～21年9月		20年9月～21年8月
ブラジル		21年3月～22年2月	21年4月～22年3月	20年10月～21年9月
アルゼンチン	20年12月～21年11月	21年3月～22年2月		20年10月～21年9月
タイ			21年1月～12月	
インド	20年4月～21年3月		20年10月～21年9月	
ベトナム			21年1月～12月	

注 市場年度は、おおむね各国で作物が収穫される時期を期首として各国ごとに設定されているため、国、作物によって年度の開始月は異なります。

例えば、2020/21年度は、米国の小麦では2020年6月～2021年5月、ブラジルのとうもろこしでは2021年3月～2022年2月です。

なお、各国別、作物別の市場年度は、米国農務省によります。

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/downloads> (「Reference Data」タブを参照)

【利用上の注意】

海外食料需給レポートは、在外公館からの情報、農林水産省が独自に各国の現地コンサルタント等を通じて入手した情報、公的機関（各国政府機関、FAO、IGC等）の公表資料、Oil World 等民間の調査会社から購入した資料、その他、商社情報や新聞情報等から入手した情報を農林水産省の担当者において検証、整理、分析したものです。

- **海外食料需給レポートで使用している統計数値は、主に米国農務省が 2020 年 5 月下旬までに発表した情報を引用しています。**

さらに詳細なデータ等が必要な場合は、米国農務省のホームページを参照願います。

http://www.usda.gov/wps/portal/usda/usdahome?navid=AGENCY_REPORTS

主な参考資料

「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

<http://www.usda.gov/oce/commodity/wasde/>

「Grain : World Markets and Trade」

<https://www.fas.usda.gov/data/grain-world-markets-and-trade>

「Oilseeds : World Markets and Trade」

<https://www.fas.usda.gov/data/oilseeds-world-markets-and-trade>

「World Agricultural Production」

<https://www.fas.usda.gov/data/world-agricultural-production>

「PS&D」

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/advQuery>

など

- **データは予測値であり、毎月各種データの更新を受けて改訂されますので留意してください。**
- 資料原典で表示されるブッシェル及びエーカー等の単位は、それぞれトン及びヘクタールに換算して記載しています。
- 資料原典において現地通貨で表示される金額を円換算するにあたっては、日本銀行国際局・財務大臣公示の基準外国為替相場及び裁定外国為替相場等の換算レートを用いています。
- 市場年度は、おおむね各国で作物が収穫される時期を期首として各国ごとに設定されているため、国、作物によって年度の開始月は異なります。
なお、各国別、作物別の市場年度は、米国農務省によります。

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/downloads>

(注：同サイトの「Reference Data」を参照)

- 期末在庫率の対前年度増減率の欄は、前年度とのポイント差。なお、表示単位以下の数値により計算しているため、表上では合わない場合があります。
- 本資料の引用等につきましては、出所（農林水産省発行「海外食料需給レポート」）を併記願います。
- 本文中の略称については以下のとおりです。

FAO	国連食糧農業機関
IGC	国際穀物理事会
USDA	米国農務省
AAFC	カナダ農務農産食品省
ABARES	豪州農業資源経済科学局
CONAB	ブラジル食料供給公社
JAXA	宇宙航空研究開発機構

なお、生産見通し等の予測は、各国国際機関及び各国の農業機関によりそれぞれの分析手法に基づき行われるため、機関によってデータの相違がある場合があります。また、各国の農業機関の公表を受けて、国際機関の見通しが改訂される場合があります。

英国については、2020年1月31日付けでEUを離脱しました。英国の小麦に関する情報についてはEUの小麦のコーナーで取り扱います。

- 本レポートの電子版は下記アドレスでご覧になれます。

農林水産省 海外食料需給レポート

http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_rep/index.html

- 本資料に関するご質問、ご意見等は、下記までお願いします。

連絡先	農林水産省大臣官房政策課食料安全保障室 TEL：03-6744-2368（直通）
------------	---